

## 平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立西吉野小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

## 【学校教育活動との連動】

学校で教育活動として取り組むことと、放課後活動など地域の人に手伝ってもらえることが、全く別々の内容であれば、それぞれの負担が大きくなるばかりである。授業ではできないことや、授業や生徒指導と関連した活動や行事を実施することで、より効果的になるように考え、取り組む。

## 【重点教育課題に関する取組】

本校における教育課題はいくつかあるが、なかでも体力向上は重点課題である。全校生の97%がスクールバスで登下校していることもあり、持久力がかなり低い。また、投げる力も低い。読書に関して、アンケートでは読書が好きと回答した児童が約80%あるにもかかわらず、その読書量は週1冊に満たない少なさである。これらの課題解決の一助になればと考える。

## 2 取組の概要

## ○学習支援 毎週火・木・金曜日

学生ボランティアによる授業の補助、放課後の質問教室や補習の補助に入ってもらっている。特に支援を必要とする児童に付いてもらうことで、児童の学習態度や意欲が高まってきた。教員をめざす学生にとっては、教員の指導法や児童との接し方など、参考になることが多いようだ。



## ○外遊び 毎週火・木・金曜日

本校では、なわとび運動や投げる力の向上に取り組んでいることから、昼休みや放課後でも、これらの運動を広めたいと考えている。

学生ボランティアと一緒に遊ぶことで、児童が外に出る機会が多くなり、遊びも活発になってきた。これまでサッカー一辺倒だった遊びが、なわとび、野球、一輪車、鬼ごっこなど、多様な遊びに変わりつつある。



○おはなし会 年3回（6/11・11/28・2/20）

地域の読書サークル「カッキークラブ」による、おはなし会を実施。読み聞かせだけでなく、手遊び歌なども交えた趣向を凝らしたものとなっている。本校では読書タイムに、担任による読み聞かせを行ったり、低・高学年別に読書の会を開催し、児童による本の紹介をし合ったりしている。



○星空観察会 7月25日

大塔「星のくに」天文指導員による観察会を実施し、大きな望遠鏡で土星や満月などを観察した。写真でしか見たことのない土星の環や月面のクレーターを自分の目で見て、児童も保護者も宇宙や星に関心が高まった。4年生の星の学習（理科）では、大塔「星のくに」にあるプラネタリウムで、星や星座の学習を行っている。



○子育て講演会 10月4日

「子どものやる気と能力を引き出す“その一瞬”の親の関わり」という演題で、日本青少年育成協会理事、小山英樹氏による講演会を、幼稚園、小中学校の保護者および教職員を対象に実施した。子どもとの関わり方を学んで、「今日から試してみます。楽しみ。」という保護者の感想があった。学校においても、教職員の児童への関わり方や声のかけ方について、意識を変えていく良い機会となった。

